



「めちゃくちゃな政治」は許さない!

突然の解散総選挙で通常より大幅に遅れて始まった国会は、
国旗損壊処罰法案、皇室典範、副首都法案…
自民党と維新の会が通したい法案を数の力で押し通して終わりました。

憲法も、民主主義も踏みにじり、
国会でまともに答弁すらしない高市首相のめちゃくちゃな政治は許せません。

一方、国会前など、全国で人々が立ち上がり、「憲法守れ」「戦争反対」と、
ペンライトを掲げ、声を上げていることは希望です。

NPT再検討会議でも核軍縮を求める声は多数派でした。
DSA(民主的社会主義者アメリカ)のみなさんとも
平和な世界をめざして協力することを公式に確認できました。

憲法の全ての条項を守りいかす平和な政治は実現可能。
めちゃくちゃな政治を終わらせるまで、声を上げ続けます。

吉良よし子



7月10日
WE WANT OUR FUTURE
国会前アクションに参加

日本でも、 「戦争反対」「憲法守れ」 とペンライトデモ

日本でも、国会前や全国の駅頭で、「戦争反対」「憲法守れ」と声を上げるペンライトデモが急速に広がっています。「9条こそが日本の防衛」「憲法こそが安全保障」と、憲法を守り生かし、戦争に反対する世論が広がっていることは希望です。

DSA Democratic Socialists of America との 協力を確認

ニューヨークのゾーラン・マムダニ市長が所属するDSA(民主的社会主義者アメリカ)のみなさんと初会談。①トランプ大統領による戦争に反対し、②日米の大軍拡を止めること、③米軍基地の撤去をはじめ、日米が対等平等の関係を築くこと、④核軍縮を進める議論を深めること、などの課題で協力することを約束。世界中のみなさんと手をつなげば、平和な世界を実現することは可能です。



4月29日 DSA指導部と初めて公式に会談・交流

核軍縮が議論の中心にも関わらず、核軍縮について述べている第6条に触れず、「NPT全体を守る」といったふわっとした抽象的なことに留めていたことに憤りを感じました

24人(応募は65人)が
決算委員会を
傍聴!

高市さんや茂木さんはあんまりよく分かってなかったようですが、私は吉良さんのお話を聞いてNPT第6条の大事さがよくわかりました!

情勢が不安定で核共有などの話が出ている中で、今回の質疑はとても心強かった

NPT再検討会議成功へ。 ニューヨークを訪問



4月26日 広島県代表団とともにパレードに参加

4月27日からニューヨークの国連本部で行われた「NPT(核不拡散条約)再検討会議」の成功に向け志位和夫議長とともに要請行動。各国の政府代表などに成果文書の発出を求めました。

会議では、締約国の7割の国々が、「核軍縮義務(第6条)の完全履行」を核兵器国に要求。「核兵器のない世界」をめざす国が世界の多数派だと実感できました。

日本政府は核兵器国に 「核軍縮」を求めるべき

帰国後、5月11日に決算委員会で、「NPT会議の成功のために、日本政府が役割を果たすべき」と高市首相に直接質問。首相は、核兵器国が核軍拡を進めていることについて「NPT条約違反かどうか一概には答えられない」と評価を避けました。唯一の戦争被爆国である日本政府がNPT第6条に基づいて核兵器国に「核軍縮」と「核廃絶」を求めるべきです。



5月11日 参院決算委員会

さあ、行こう! 平和への道
核兵器廃絶、憲法が生きる政治を



辺野古転覆事故

教育の安全管理の徹底を 教育への政治介入は許さない

5月21日、
6月11日に質問

✓ 教育では安全性を最優先に

辺野古の研修において亡くなられたお二人に哀悼の意を表します。この件で、学校の安全配慮義務が問われるのは当然です。なにより、あらゆる教育活動において、「安全に教育を受ける権利」を最優先に位置付けるべきです。そのためにも、少なすぎる安全への予算（年間3.2億円）の抜本的増額と人員増を求めました。

現在の「学校安全推進事業」
予算の額：

3.2億円

内容：研修の実施や
優良事例の普及等

予算の 抜本増額

(公共交通を使うための費用補助、
安全のための人の配置)

が必要



✓ 教育内容への介入は許されない

辺野古の研修内容に関する、文科省による「教育基本法違反」との見解（5/22）は不当な政治介入です。

介入の
問題点

- ・何が違反にあたるのか、明確に示されていない
- ・勝手な法解釈による介入
- ・文科省による「違反」認定は前例がない
(森友学園についても「違反」認定せず)
- ・最高裁判決(「国家による政治介入は抑制的に」)に反する

✓ 平和教育を萎縮させない



憲法の平和主義に
もとづき、平和学習
は推進すべき

平和で民主的な社会
についての教育
は極めて重要



大臣も平和学習の重要性を認めましたが、今回の文科省見解により各現場の平和教育が萎縮しています。文科省による平和学習の調査も学校現場を萎縮させる不当な介入であり、ただちにやめるべきです。

ハラスメント・暴力をなくす論戦

受験生ねらう 痴漢対策前へ

「“私服”受験可能」の明記を

受験生をねらう痴漢対策として求めてきた「私服」受験が可能であり、マイナス評価はしないと文科省が明言。7月14日の文教科学委員会で受験生への周知を求めました。



7月14日 文教科学委員会

「はどめ規定」の撤廃を!

学習指導要領改訂の中教審で議論を

(4月16日 文教科学委員会、6月2日文科省要請)

包括的性教育をすすめるため、学習指導要領の「はどめ規定」の撤廃を求めています。4月16日には文教科学委員会で質問。6月2日には文科省要請を行いました。



6月2日 文科省要請

「相談できる場所がない」 続けたいのに、やめるしかない?

習いごととハラスメント

(4月20日 こども・子育て・若者活躍特別委員会)

小学生の8割が通っている習いごとで、指導者からの暴力やハラスメントが起きている実態について、新婦人によるアンケートに寄せられた声をもとに質問。政府の相談機関で「相談にのってもらえなかった」などの実態を告発し、被害救済対策の確立を求めました。

平和学ぶ権利、～傍聴者の声～ 子どもたちから奪わないで



戦争や原爆について学ぶことは主権者になる上で大事なことです。学校現場への圧力になるやり方は看過できない(教員)



現状でも、小中高と平和教育はほとんどなく、もっと授業で取り上げてほしい。国からの介入はやめてほしい(保護者)

市民の意見を聞かぬまま再整備事業が進められている日比谷公園をフィールドワーク。

6月7日
東京プライド2026パレード

徹底解説
しています!

6月16日
日比谷公園再整備フィールドワーク

「多様性と平等がひらく未来」をテーマにセクシュアル・マイノリティの権利と尊厳を求め、Tokyo Pride2026パレードでアピール。

「稼げる文化」 でなければ価値なし?!

国立博物館・美術館守れ

(4月2日 文教科学委員会)

高市政権は国立美術館・博物館などの自己収入割合が低いことを問題視し、再編をたてに入場料引き上げなどで「自己収入確保」を迫っています。4月2日の文教科学委員会で、「再編ありきの目標設定はやめよ」と追及し、文化予算を抜本増額するよう求めました。

有利子奨学金 金利急上昇!

(4月6日 予算委員会)

学生追いつめる有利子は廃止を

2021年3月卒業時点

0.004%
金利

2026年3月時点

325倍! 1.3%
金利

住宅ローンよりも高い利率に!?

「奨学金返済しながら子育てし、子どもがまた借金を背負うことが耐えられないから子どもはあきらめる」などの声を紹介し論戦。有利子奨学金の金利急上昇を引き起こしたのは、国債を大量に発行している高市政権だと追及。若者の救済と有利子奨学金の廃止を求めました。



予算委員会での質問動画 ▶▶▶

ずっと
待ち続けていた

被害者の切実な願い 一刻も早く結実を!



7月8日

空襲被害者救済法案提出



7月9日

水俣病被害者救済新法案提出